

選手のみなさんからの「ボールの提供」が 子ども達の難病や重病を救います！

現在、日本で難病や重病に苦しむ子ども達は約20万人といわれ、その多くは家から遠く離れた病院に入院しなければなりません。そんな子ども達にとって、何より大切なことは家族がそばにいること。けれど病院の近くに宿泊設備を探し、そこで生活をしながら看病するのは、家族にとっても精神的・経済的にも大きな負担がかかってしまいます。

「ドナルド・マクドナルド・ハウス」(以下、財団)は、こうした家族を応援するための宿泊施設。子どもの病室の窓からすぐそこに見えるほど隣接しているから、家族はいつも、子どものそばにいてあげられます。ほかの家族との交流があるから、ひとりで悩みを抱え込まなくて済みます。また、ハウスは企業や個人の方からの寄付や募金、そしてボランティアの方々によって運営されています。こうした皆さんの力が、病気の子どものとその家族を力強く支えているのです。(現在、仙台・世田谷・高知の3ヶ所にあります)

今年、ゴルフダイジェスト・ジャパンジュニアカップでは、この「ドナルド・マクドナルド・ハウス」に協力したいと考え、選手のみなさんからの「ご好意」をいただきたい、と思います。

その好意は「ゴルフボール」です。

選手のみなさんがお持ちいただく「ゴルフボール」を集め、それを「リサイクル」してドナルド・マクドナルド・ハウス財団へ寄付をしたいと思います。

その際にご注意いただきたいことがございます。なるべくオンネームの無いゴルフボール(名前や企業名などが刻印されたもの以外)の寄付をお願い致します。

突然ではありますが、どうか趣旨をご理解の上、ご協力いただきたく思います。

平成19年8月8日
2007(10th)
ゴルフダイジェスト・ジャパンジュニアカップ
大会実行委員会